

NIHON UNIV. Equestrian Team

Vol.38
2023. winter



仁者憂えず

監督 諸岡 慶

三木ホースランドパークで開催された、令和5年度全日本学生馬術大会2023にて3種目総合13連覇を達成することができました。この場を借りて、日頃より日本大学馬術部の活動にご理解くださり、ご協力いただいている皆様に感謝申し上げます。

今大会を振り返りますと、障害馬術競技団体優勝、と馬場馬術競技団体2位、総合馬術競技団体優勝、と団体優勝できたのは1競技のみ。今の実力がそのまま結果に出たのだと思います。個人優勝は、馬場馬術で3年の越後と桜蝶が逆転優勝を果たしたのみ。今年に入り、馬場の合宿を増やし、練習を積み重ね、気合いを入れなおした成果がみえたと感じます。

それを踏まえてもなお、満足できる結果ではありません。三種目総合はなんとか連覇を繋げられたものの、

この結果で満足している学生はいないと信じています。

それぞれが様々な思いを抱え、壁にぶつかっているなかで出した結果だと思いますが、蓋を開けてみれば、常勝日大とはほど遠い内容であり、このことは出場した選手、そして周りで見ていた部員が一番実感していることだろうと思います。

学生達に今一度問いたいことは、なぜ日大馬術部に入ったのか、ということです。

現役の学生たちは、死に物狂いで優勝を目指していた暗黒時代を知らません。その気も知りません。優勝の波に乗り、日大馬術部黄金期と呼ばれた時代の我々を見ていた世代の子たちです。その時代に入るために、裏では学生たちがどれほどの努力をし、汗を流し、涙を流したのか、想像してほしいと思います。

憧れるほど輝いていた選手たちも、何もせず結果を出していたわけではありません。学生としてやるべきことをこなし、馬たちと真摯に向き合い、試合で勝つためにはということを常に考え、いわゆる“普通の大

学生”とは違う生活を送っていました。その結果、今の連覇の土台を作ることができたのです。

勝ちたいと思ったから、上手になりたいと思ったから、ここにいるはず。少しの期待も持たずにここにいる学生はいないでしょう。

私は、この全日本学生が終わってから勝利の余韻に浸ることもなく、来年を見据えています。高齢化が進むレギュラー馬達の采配や、残された学生たちの鼓舞に頭を悩ませるところでもあります。

しかしこの結果から、悔しさを覚えた学生は来シーズンに向けてより奮起してくれること期待しています。

「三種目総合優勝をしたからいい」というわけではないことは、学生達が一番よくわかっているはず。来年は日大の歴史に恥ずかしくない結果をお見せできるよう、我々も全力で取り組む所存です。

追われる立場をよく理解し、しっかりと来シーズンを戦い抜いていきますので、皆様、来年も応援の程よろしく願っています。

👑 全日本学生馬術三大大会 三種目総合で 13連覇!! 👑

今回の全日本学生馬術三大大会（11/1～11/6）は、団体は総合馬術競技で優勝、個人では馬場馬術競技で3年越後りのが優勝しました。本学は三種目総合でも優勝し、13連覇を勝ち取りました!!

障害馬術競技の1走行目は、4年アンナボルトニク&桜艶が安定した走行を見せ見事減点0、3年大池駿和&桜妃、2年川野剛&桜真、1年砂川成弘&桜望が減点8、1年門岡祐樹&桜京が減点12と続きました。1走行目終了時点で、団体では本学は総減点16で5位となりました。

2走行目は、アンナボルトニク&桜艶と川野剛&桜真の2人馬が減点0、砂川成弘&桜望、門岡祐樹&桜京が減点8、大池駿和&桜妃が減点16で走行を終え、二日間ともクリアラウンドで走行を終えたアンナボルトニク&桜艶がジャンプオフに駒を進め、個人で6位に入賞しました。

団体では本学が総減点24で3位という結果で2位の明治大学とは12点差でした。障害馬術競技で団体及び個人での優勝を逃し、悔いが残る結果となりました。

馬場馬術競技では、3年越後りの&桜蝶が最終得点率66.778%、1年砂川成弘&桜宇が最終得点率64.333%をとり、2人馬が決勝進出を決めました。3年藤田華暖&アラジンカンペルトは最終得点率62.000%、4年アンナボルトニク

&桜羽は最終得点率61.778%で決勝進出は叶わず、悔しい結果が残るものとなりました。翌日行われました決勝競技では2人馬とも観客を魅了する素晴らしい演技を披露し3年越後りの&桜蝶が最終得点率69.545%で見事個人優勝をし、1年砂川成弘&桜宇が最終得点率58.535%で9位に入賞しました。この上位2名が団体成績に大いに貢献し、団体合計得点率193.11%で終えました。団体1位の立命館大学は団体合計得点率203.19%で、昨年同様、あと少しというところで団体優勝は逃してしまいましたが、最高の演技を見せてくれました!

最終種目となった総合馬術競技は二日間にかけて行われました。5人馬とも無事にインスペクションを通過し、調教審査で4年アンナボルトニク&桜彩が最終得点率72.25%で圧巻の演技でトップに立ち、3位に1年砂川成弘&桜里が最終得点率69.74%で続いて上位に入り、3年藤田華暖&桜燕が最終得点率64.12%、2年川野剛&桜空が最終得点率61.94%、1年伊丹媛香&桜恋が最終得点率58.97%でスタートし、最終日の耐久審査と余力審査に向か

いました。耐久審査では、5人馬中3人馬が無過失で難しいコースを走り切り、4年アンナボルトニク&桜彩が減点27.8で変わらずトップに立ちました。最終競技の余力審査では4年アンナボルトニク&桜彩が5位入賞を果たしました。そして10位に1年伊丹媛香&桜恋、12位に2年川野剛&桜空と続き、15位に3年藤田華暖&桜燕が入賞しました。1年砂川成弘&桜里はゴールを切ることが出来ず悔しい結果となりましたが団体で2位の東京農工大学に減点数13.9の差をつけ優勝し、無事に全種目を終えました。これらの成績を残せたのは、監督はもちろんコーチの方々、様々な視点からサポートをしてくださったOB・OGの皆様、保護者の方々のお陰です。ありがとうございました。来年も引き続き、連覇を継続するため部員一同気を引き締め日々精進していきたいと思っておりますので、これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



令和5年度全日本学生馬術三大大会

第66回 全日本学生賞典馬場馬術競技大会

3年 越後 りの 桜蝶

今回、桜蝶とコンビを組み全日本学生に出場させていただきました。結果は優勝することができました。私自身、初めての全日本学生で緊張やプレッシャーがありました。ですが、絶対に気持ちで負けてはいけない!私が勝つ!と強く思いながら競技に挑みました。コンビを組んだ桜蝶は、経験のある先生のような馬でとても頼もしく、何度も助けてくれ、私の気持ちに添えてくれました。今回の勝ち、桜蝶はもちろん、監督、コーチをはじめとする本当はたくさんの方々に支えられて掴み取ったものです。ありがとうございました!これからも精進してまいりますので、応援よろしくお願いします!

個人優勝



第66回 全日本学生賞典総合馬術競技大会

個人5位

第73回 全日本学生賞典障害飛越競技大会

個人6位

第66回 全日本学生賞典馬場馬術競技大会

個人14位

アンナ ボルトニク
4年 Anna Bortnik 桜彩、桜艶、桜羽

最初で最後の全日本学生大会で3頭で3種目に出場させて頂きました。個人優勝できなくても悔しさを超えた感謝の気持ちで終わらせられたこと、これからの思い出にしたいと考えています。桜艶は障害競技で経験の少ない私を連れて行ってきて、2走行を満点で帰って来れたことは自信に繋がりました。ジャンプオフでは小さいミスで6位という結果でしたが、楽しく障害を過ごさせてもらって桜艶に感謝しています。土壇場で決められて、桜羽と馬場競技に出場させて頂きました。馬との相互理解を深める時間が足りなかったため、満足のいく演技はできませんでした。それでも、頑張ってくれた桜羽に感謝しています。1年生の頃から、桜彩と毎年一緒に全日本学生総合大会に出場することができて本当に嬉しかったです。関東学生で優勝できた結果を繰り返さなくて悔しいところもありましたが、4年間で様々な浮き沈みがあった中で、今回は集大成の試合となりました。今回だけではなく、4年間で築いた信頼関係と一番素敵な思い出と一緒に作ってくれた桜彩に感謝しかありません。また13連覇を繋げることができて嬉しく思います。この4年間で私を指導してくださり、支えてくださった監督はじめコーチの方々には感謝いたします。ありがとうございました。



第66回 全日本学生賞典総合馬術競技大会

個人10位

1年 伊丹 媛香 桜恋

今回、全日本学生賞典総合馬術競技大会に桜恋とともに出場させて頂きました。1年生で学生戦の経験もあまりなく、団体戦によるプレッシャーを感じてしまい馬場では良い点を取ることができませんでした。クロスと障害を減点0で帰ってくることで私に残された唯一の務めだと考え、それを有言実行できたときは本当に安堵しました。結果として個人10位という成績を残すことができ、監督をはじめコーチの皆様、支えてくれた部員、そして何よりともに走り切ってくれた桜恋には感謝の気持ちでいっぱいです。今回で得た学びを今後に繋げられるよう、これからも日々精進して参ります。



第66回 全日本学生賞典総合馬術競技大会

個人12位

第73回 全日本学生賞典障害飛越競技大会

個人13位

2年 川野 剛 桜空、桜真

全日本学生という1年の集大成ともいえるような競技会に2年生で出場することが出来たことはとても良い経験になったと思っています。連覇も繋げることができ、自分が出場させていただいた障害と総合は何とか団体にも貢献することが出来ました。個人では、障害は一走目で2落してしまい早くも優勝決定戦に出場する機会を失い、総合では野外と障害で無駄なタイム減点が着いてしまい、10位以内入賞を逃してしまう悔しい結果で終わってしまいました。今後自身の実力面、メンタル面両方ともしっかりと向上させ来年も出場を目指し、来年こそは優勝できるように頑張ります。



全日本学生馬術選手権大会

今回静岡県の御殿場馬術・スポーツセンターで行われました。全日本学生馬術選手権大会は、男女別で提供された貸与馬に乗り、決められた運動時間で初めて乗る馬の特徴などを把握し競技に挑むため、高度な技術が求められる大会です。本学からは男子1人、女子2人が関東予選を突破し、今大会に出場いたしました。

決勝戦には、男子が1年生の砂川成弘、女子も1年生の伊丹媛香が勝ち進み、男子では1年砂川成弘が優勝することが出来ました！女子は1年伊丹媛香が決勝へ勝ち進むも惜しくも優勝を逃してしまいましたが、3位になることが出来ました！決勝へ進んだ2人は、1年生ということもあり今年初めての出場でしたが、練習の成果が出たのだと思います。選手権は、初めて乗る馬への対応力と短い練習時間でどこまでその馬のポテンシャルを引き出せるかという自身の技術を見せる最高の舞台だと思います。今大会での経験を活かし、今後馬に対しての乗り方など、工夫できるところを増やしていけるのではないかと思います！

今回、選手達が活躍できたことも、大会に大事な馬を貸与してくださった大学の皆様、運営に携わってくださった皆様、そしてなにより日頃より応援してくださる皆様のおかげでございます。この場を借りて感謝いたします。

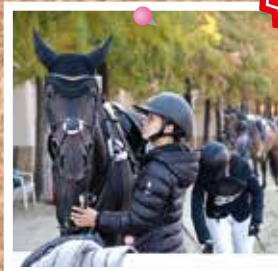
来年も全日本学生馬術大会連覇、そして完全優勝を目標に、部員一同日々精進いたしますので、これからも応援の程よろしくお願いいたします。



優勝

1年 砂川 成弘

初めて全日本学生馬術選手権大会に出場しました。終わってみれば関東と全日本のどちらも優勝することができて、結果としてはとても良い結果で終わりました。しかし全てが完璧にこなせたわけではなく、序盤から上手な選手と当たったり難しい馬が出てきたり、とても大変だったので、来年以降も優勝し、連覇できるように毎日の練習に励みたいと思います。



28名の 部員紹介



(4年) 長田 結愛
生物資源科学部 国際地域開発学科



(4年) Anna Bortnik
生物資源科学部 国際地域開発学科



(4年) 小濱 千晴
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(4年) 荒木 美緒
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 藤田 華暖
生物資源科学部 国際地域開発学科



(3年) 越後 りの
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 村山 駿哉
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(3年) 飯隈 亮介
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(3年) 大池 駿和
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 上田 龍輝
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 川添 仁胤
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 川野 剛
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 菅野 玲真
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 西 悠太
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 板垣 翔明
生物資源科学部 獣医学科



(2年) 井上 明大
生物資源科学部 生命化学科



(2年) 浅野 華菜
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 奥田 記枝
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(2年) 加藤 千佳
生物資源科学部 国際地域開発学科



(2年) 富田木乃香
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(2年) 藤本 道子
生物資源科学部 食品ビジネス学科



(1年) 伊丹 媛香
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 鈴木 美咲
生物資源科学部 獣医学科



(1年) 門岡 祐樹
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 小西 龍翔
生物資源科学部 動物学科



(1年) 砂川 成弘
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 瀬口 竜也
スポーツ科学部 競技スポーツ学科



(1年) 吉田 要純
生物資源科学部 国際共生学科

日本大学馬術部ホームページ



Facebook



YouTube



Instagram



X
(旧Twitter)



令和6年度 前期行事予定



1月

●初乗り会

2月

●関東学生馬術新人戦・OB戦
●第65回三獣獣大学馬術大会

3月

●第44回スクーリング馬術大会

4月

●第61回東都学生馬術大会
●CCI MIKI 2024

5月

●関東学生馬術選手権大会・女子選手権大会
●第45回全日本ヤング総合馬術大会 2024

6月

●令和6年度関東学生馬術三大大会
●関東ブロック大会

卒業生の主な就職先

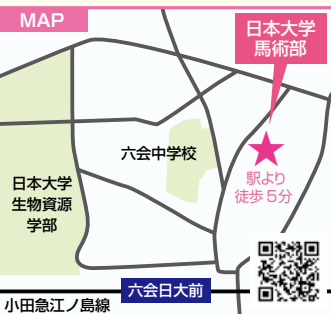
(順不同)

- 日本大学
- JRA日本中央競馬会
- 地方競馬全国協会
- 株式会社乗馬クラブクレイン
- 福井工業大学
- 獣医師
- 株式会社P&Pホールディングス
- SMBC日興証券
- 公益社団法人日本馬事協会
- ノーザンファーム
- 有限会社松風馬事センター
- 東海道旅客鉄道株式会社
- 日本馬事普及

合宿所・馬場

〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野 840
TEL:0466-81-0288
FAX:0466-81-8885

▶ e-mail
nihonndaigakubajyutubu@gmail.com



○編集担当：長田 結愛 村山 駿哉
富田木乃香 浅野 華菜